

指定給水装置工事事業者 指定更新時確認書

記入例

氏名又は名称 クラシキスイドウ
倉敷水道

最新の受講実績を入力。

郵便番号、住所 倉敷市西中新田640

代表者氏名 水道 太郎

電話番号 (〇〇〇)△△△-××××

常時連絡できる電話番号をご記入。

①提出先の水道事業者(水道事業者等の連携による広域開催も含む)が実施している指定給水装置工事事業者講習会の受講実績(過去5年以内)

受講年月日(受講を証明する書類(受講証等)の写しを添付してください。)(公表: ☒ 可・不可)	
令和 3 年 月 日	未受講
(未受講の場合、その理由)※非公表	
・未受講の理由を記入(非公開) ・修了証を紛失した場合、「修了証紛失」と記入。	公表(ホームページ等へ掲載を含む)の可否について必ず○で囲んでください。

②指定給水装置工事事業者の業務内容

休業日、営業時間(修繕対応時間もご記入ください。)(公表: ☒ 可・不可)	
休業日: 日曜日、祝日、正月3が日、GWに連休	
営業日及び時間: 月～土 8時～17時	夜間・休日等の修繕対応時間などを記入。
修繕対応時間: 8時～17時 17時以降は要相談	
漏水等修繕対応の可否(公表: ☒ 可・不可)	
(該当部に○をつけてください。詳細な内容を記入することも可能です。)	
屋内給水装置の修繕	埋設部の修繕
その他()	
対応工事種別(新設・改造等)(該当部に○をつけてください。)	漏水時の修繕対応の可否やその他欄を利用して夜間・休日等の対応について記入。
配水管からの分岐～水道メーター	☒ 新設 改造)
水道メーター～宅内給水装置	☒ 新設 改造)
漏水調査	☒ 可・不可 (公表: ☒ 可・不可)
その他	(公表: 可・ ☒ 不可)
緊急連絡先 ○×〇-××××-〇〇〇〇(代表者携帯)	
緊急時の連絡先などを記入。	

※ 公表には、ホームページ等への掲載を含みます。

※ 業務内容に変更が生じた場合は、速やかに指定した水道事業者はその旨を届け出るようお願いいたします。

③給水装置工事主任技術者等の研修受講実績(過去5年以内)

水道法施行規則 第36条

法第25条の8に規定する国土交通省令で定める給水装置工事の事業の運営に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。(以下抜粋)

4 給水装置工事主任技術者及びその他の給水装置工事に従事する者の給水装置工事の施工技術の向上のために、研修の機会を確保するよう努めること。

①に記載している日本水道協会岡山県支部主催の指定給水装置工事業業者講習会以外を記入。

受講者名(公表対象外)	研修会名、実施団体	受講年月日
水道 太郎	給水工事振興財団 e-ラーニング	令和3年7月20日
水道 次郎	自社内研修 ○○に関する業務研修	令和4年7月23日
e-ラーニングや研修会受講後に受け取った修了証や終了年月日が明示されたもの(主任技術者証)の写しを見て記入。 自社内研修の場合は、申し出のみで可。別途証明書類や受講の事実を証明する必要なし。		
＜ 研修に含まれるべき事項とは ＞ 給水装置工事主任技術者等の技術力の確保に役立つ内容であること。 ①水道法(給水装置関連) ・給水装置工事主任技術者の職務と役割 ・給水装置の構造及び材質 ②給水装置及び給水装置工事法に関する最新の技術情報 ③給水装置の事故事例と対策技術 ④給水装置の維持管理(故障・異常の原因と修繕工事法)		
過去5年以内に研修の受講実績がなく、無記入の場合も、公表(ホームページ等へ掲載を含む)の可否について必ず○で囲んでください。		
上記内容の公表の可否(公表には、ホームページ等への掲載を含みます。)(公表: 可 ・ 不可)		

※ 外部研修については、受講を証明する書類(受講証等)の写しを添付してください。

※ 自社内研修については、研修内容を記載してください。

※ 受講者名は、公表の対象ではありません。

※ 行数が足りない場合は、必要に応じてコピー等してください。

④過去1年以内の給水装置工事に主に従事した適切に作業を行うことができる技能を有する者の状況

水道法施行規則 第36条

法第25条の8に規定する国土交通省令で定める給水装置工事の事業の運営に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。(以下抜粋)

2 配水管から分岐して給水管を設ける工事及び給水装置の配水管への取付口から水道メーターまでの工

事を施工する場合において、当該配水管及び他の地下埋設物に変形、破損その他の異常を生じさせることがないよう適切に作業を行うことができる技能を有する者を従事させ、又はその者に当該工事に従事する他の者を適切に監督させること

工事を施行しない場合は□にチェック✓を記入。

□「配水管からの分岐～水道メーター」の工事を施行しないため不要

保有している資格を記入。

技能を有する者の氏名 (公表対象外)	配水管への分水栓の取付・ せん孔、給水管の接合、いず れの経験も有しているか (○×を記入)	資格等を有しているか(○×を記入)	保有している資格等 ※1	工事年度
水道 太郎	○	○	講習会修了者	R4
水道 次郎	○	○	検定会合格者	R4
倉敷 一	○	×	資格を有していなくても、経験 を有していれば記入。	R5
雇用関係又は下請け等も含み、給水装置 工事に主に従事した者の氏名等を記入。				
(保有資格の例) 一・二級配管技能士 給水装置工事配管技能検定合格者証 給水装置工事配管技能者証 配水管技能者登録証 など				
上記内容の公表の可否(公表には、ホームページ等への掲載を含みます。)(公表 <u>可</u> ・不可)				

※1 以下に示す保有資格等(下線部)を記載してください

- ①水道事業者等によって行われた試験や講習により、
(配管技能者、その他類似の名称のものを含む)
- ② 職業能力開発促進法(昭和44年法律第64号)第44条第1項第1号に規定する職業訓練校の配管科の課程修了者
- ③ 職業能力開発促進法第24条に規定する都道府県の認定を受けた職業訓練校の配管科の課程修了者
- ④ 公益財団法人給水工事技術振興財団が実施する配管技能の習得に係る講習の課程修了者
(配管技能者講習会修了者、配管技能検定会合格者、配管技能者認定)

※ 資格を証明する書類(資格等)の写しを添付してください。

※ 技能を有する者の氏名は、公表対象ではありません。

※ 行数が足りない場合は、必要に応じてコピー等してください。